

第49回佐賀県人権・同和教育研究大会

全体会 特集

8月7日(水)、佐賀市文化会館大ホールにて、第49回佐賀県人権・同和教育研究大会(全体会)を開催しました。

気温36度を越える猛暑の中、1096名の社会教育・学校教育関係者等が集い、共に学び合いました。

開会行事では、主催者挨拶や大会基調提案を行い、その後Demo代表、教育コーディネーターの武田緑さんによる「部落問題の今と、これからの人権教育」と題した講演を実施しました。ご自身の体験などを交えたわかりやすい話と、参加者を巻き込んだワークショップが好評を博しました。

以下、参加者からの感想を抜粋して掲載します。

佐同教だより

佐賀県人権・同和教育研究協議会

住所 佐賀市大和町大字川上 佐賀県教育センター 中研修室棟内

TEL 0952(62)6434 FAX 0952(62)6435

演題 「部落問題の今と、これからの人権教育」

参加者アンケート(一部抜粋)

○これまでの講演とは違い、「強い心」や「しつかり」等の戦う感じではなく、肩の力を抜いて対応できる話でした。「あらいがい方」の方法を自分で考え、身につければいいんだなと思いました。講師の方の話がスツと入ってきた感じでした。

○まだまだ話を聞いてみたいと思いました。

○部落差別の「今」がよく分かったように思います。部落差別という何かよく分からないものを畏怖している状況が、いつまでたっても壊れない概念を作りあげているのだと思いました。踏み出せない一歩が、作るものでした。遠い昔の話ではなく、今現在の話として話してくださいだったので、とても分かりやすかったです。

○あるものないものの区別がつかない、あいまいになっている現代社会が作り出している「差別」という現象が見えてきた

ように思います。

○自分は部落問題について、「絶対に差別しない」と思っています。しかし、ワークショップの質問をされたときに、迷わず100%とすることができない自分がいました。「自分の責任で選択」できるよう、もう一度自分自身を見つめ直していきたいと思えます。

○『差別の現実を知る』何も知らないことは何もできないことだと思いました。私自身も責任を持って考え、行動しなければならぬし、私たちの社会は私たちが作っていると考え、責任をもって生きていこうとする子どもたちを増やさないといけないと思いました。

○参加型の講演で、場面ごとに自分の考えを近くの人と話し合え、しっかりと考えることができた。すぐ実践できそうな内



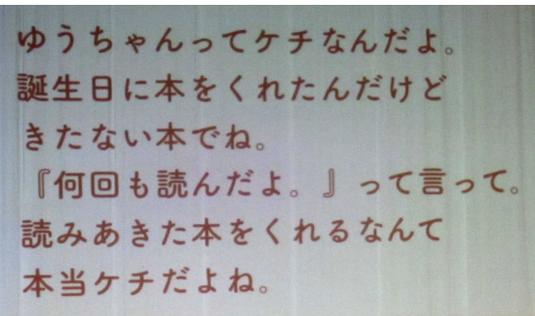


るよう教
えていた
だいた具
体的な取
り組みを
実践して
いきたく
と思いま
す。

○学校で行うべき人権・同和教育がどうあるべきかが今日の武田さんの講演ではつきり分かった。こんなに論理的に、人権・同和教育について教えていただいたことはなかったなと感じた。自分の頭で正しい情報をもとに判断し、差別に抗える方法を考えられる、また、変えていきたいと考え行動できる子どもたちを育てられ

○話がとてもわかりやすく聞きやすかったです。隣の人と話し合う時間などもあったので、集中して能動的に学ぶことができました。「差別との戦い方にはいろんなレパートリーがあつていい」というお話はとてもなぐさめられ、励まされました。自分の中にまだたくさん差別性のある考えがあるということがこの講演の中で気づかされました。

容だった。これからどのような教育をしていけばよいか、納得できる分かりやすいお話だった。



【ワーク①】この文章を、「事実」と「意見・印象」に分けてください。
○事実…誕生日に本をくれた、…「何回も読んだよ。」って言って
○意見・印象…ケチ きたない本 読みあきた本

○「無作為の作為」 「自分が住もうと思うのだからか？」というポイントは、特に心に残りました。自分自身が差別に対して無意識下で刷り込まれている部分への『揺さぶり』と『気づき』を与えて頂いたご講演となりました。

○現代の部落差別がどのような状況でなされているのかが分かりました。私自身も「娘の結婚を反対した母親」と同じような感覚をもっていました。差別のない社会をつくるために、積極的に関わっていきたく思います。

○差別の現状を生きて聞くと、差別が根深いものであると同時に、その中で差別地区の方々が

○部落差別についていろいろな角度から切り込んであり、興味深く聞いていました。立場を変えると差別の見え方も変わってくる。非常に難しい問題ですね。これからの教育において子どもに成功体験を重ねさせ、挑戦することを恐れない力を身につけさせなければと思った。また、それを受け入れられる社会であってほしいと思う。ありがとうございました。

○人権教育に関し、こうした生き方が素敵だな、かつこいいなと思わせる武田さん。これまで歩いてきた姿が、若い人たちに元氣と展望を与え続けておられると思います。自分のふるさとがかっこいいと思える取組が大事だと思います。

○ワーク①の「事実」と「意見」を分ける作業は、普段の生活でも使えるなと思いました。今どきのライントラブルも、差別や偏見の心があつて問題になっていくことが多いです。



ワークショップに参加しているみなさん

各地区同研 夏期講座等の紹介

◎伊西地区同研 夏期講座 8月8日

◆演題『寝た子』はネットですごされる!?

～ネット社会と部落差別の現実～

◆講師 川口 泰司さん

(山口県人権啓発センター事務局長)

伊万里市民会館において、伊西地区人権・同和教育夏期講座を開催しました。講演は、山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司さんにしていただきました。川口さんは、部落差別の現状や、ネット社会における差別、「晒し」差別などの課題を中心に、これから私たち教員がどんな指導を子ども



たちにしていくなで、多くの学びとなることを話していただきました。参加者からはたくさんの感想をいただきました。

○これまで部落問題学習に、私自身、知識もある程度あると思っていましたが、川口さんの講演を聞いて、現代社会における差別の現状を知り、驚きました。ネットを利用した悪質な差別に対して、その広がり方のスピードと無法地帯という現状に、正直どうしたらいいのだろうと不安になりました。しかし、お話の中にあつた「教室の中の人権意識を高める」ことが大切ということを知りました。目の前の子どもたちに正しく伝えられる教師でありたいと思います。

○今までの感覚だけで安易な指導をするところが、将来の子どもたちに無意識に差別をしてしまう原因を作ってしまうことを学ぶことができました。ネットでの事例はもつともだと思いましたが、川口さんの体験されたことも交えて、今の同和問題の違う意味での恐ろしさを認識しました。マイナスだけでなく、すべての良い悪いを、今からの子どもたちにしっかりと伝えていかないと、恐ろしい世の中になると感じました。教育現場にいる者として、重大な責任があると思いました。

◎杵武地区同研 小6中社研の取組

6月18日(火)、白石町総合センターにおいて、杵武地区の小学校6年担当者および中学校社会科担当者による研修会を行いました。講演では、講師に佐賀市立昭栄中学



校児童生徒支援教員の川原章子先生を迎えて、「中学校における人権・部落問題学習の実践」という演題で模擬授業形式で、講演をしていただきました。参加した先生方から、模擬授業形式で資料をうまく提示しながら、とてもわかりやすい内容だったと好評でした。中学校社会科担当者は、教科書に記載されている「賤称語」について、生徒たちに正しく理解させるために不安や戸惑いをかかえているものが少なくありません。そのような中で、中世の「ケガレ意識」をしっかりとおさえ、「江戸時代の身分制度」につなげる授業実践を紹介していただき、とても有効な学びになったと思われまます。また、昭栄中学校の部落問題学習の年間計画を提示され、3年間を通しての指導計画、全職員での共通理解のもとで、指導されることも参考になりました。

後半は、グループに分かれ、小学校は部落問題学習の実践事例をもとに話し合い、中学校では部落問題学習の情報交換を行いました。

◎三神地区同研 人権・同和教育現地研修会

七月25日(木)、三神地区人権・同和教育研究会では、「春日クローバープラザ」と「大刀洗平和記念館」を22名(先生方と神埼市教育委員会の方)に参加していただき現地研修会を行いました。

【春日クローバープラザ】では、福岡県人権研究員の迫本幸二さんから「見えない差別と部落差別解消推進法」という内容で、講演していただきました。部落史にかかわる新しい研究の成果を元にした、江戸時代の身分制度の説明。明治以降の近代化の中の新しい価値観に基づいた差別の助長。インターネット上の書き込みや拡散、ヘイトスピーチ等。現代特有の差別の実態は参加者にとつて新しく知り得た知識もあり、大変参考になるものでした。そしてこれからどのような自らの中に差別性に向き合い、差別をなくすために向き合っているのか、今後の教師としての生き

か、今後の教師としての生き



方のみならず、人間としての生き方にも多くの示唆を与えていただきました。ご講話のあと、常設展示や特別展示を見学し、内容の素晴らしさに参加者一同感心し、多くの学びをさせていただきました。

【大刀洗平和記念館】は、三神地区から近い立地条件でありながら、初めて来館された先生方が殆どで、「このような施設があることも知らなかった。きてよかった。」という先生もいました。記念館では、大刀洗飛行場をはじめとした一帯の軍事的歴史を知ることができました。また、空襲で命を落とした数多くの児童や住民の方々、特攻隊員、シベリア抑留者の悲運な生き様に思いを馳せ、この歴史を後世に語り継ぐことの重要さや、平和な世の中を維持していくために我々教師に課された平和教育の重要

さに、改めて気づくことができた。今後同和研究会等の充実を図り、三神地区の人権・同和教育の推進に努めていきたいと思います。

2020年度(来年度)の主な行事

行 事 名	日 時 ・ 場 所	参加・資料代
佐賀県人権・同和教育研究協議会第51回総会並びに研修会	5月15日(金) 13:30 メートプラザ佐賀	無 料
佐賀県人権・同和教育研究大会(第50回全体会)	8月7日(金) 14:00 佐賀市文化会館	800円
佐賀県人権・同和教育研究大会(第50回分科会)	10月20日(火) 9:30 神埼市・吉野ヶ里町・上峰町	1500円
佐賀県人権保育研究集会	10月25日(日) 9:00 佐賀市内	500円
実践交流会Ⅰ	11月20日(金) 13:30 場所未定	500円
実践交流会Ⅱ	1月19日(火) 13:30 場所未定	500円

* 開催時刻については、変動することがあります。

※今年八月末の九州北部豪雨、そのあとの台風一五号、一九号と自然災害が続いています。被災されたみなさんに、お見舞い申し上げます。避難など、余裕を持った行動を心がけましょう。